

(別紙5)

整 理 番 号 2019P-033

補 助 事 業 名 2019年度 自転車安全利用等、人にやさしい健康で安全な社会づくりを推進及び交通マナーを啓発する事業 補助事業

補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

1. 自転車情報提供事業

自転車の総合情報提供施設である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。
(来館者数 4,958名)



自転車文化センターギャラリー正面



自転車文化センターライブラリー展示室・専門図書

また、一般の方の自転車への興味を喚起し、これから自転車に乗ろうとする方々への入り口として、当センターオリジナルの自転車入門ガイド「BCC 入門ガイド～始めよう自転車ライフ～」を作成し、全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等各所に配布した。

2. 自転車普及啓発イベント

①自転車月間イベント (<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2019/>)

「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2019』を開催した。(5,337名来場)

(別紙5)



「サイクルドリームフェスタ2019」 入り口

「サイクルドリームフェスタ2019」 会場の様子

②自転車に関する企画催事 <http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100437>

下記の企画催事を開催した。

名 称：『2020 ハンドメイドバイシクル展』

期 間：2020 年 1 月 25 日（土）・26 日（日）（2 日間）

場 所：東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館 1・2・3・4・5 号催物場

内 容：ハンドメイドビルダーによる独自の技術が施された自転車及びパーツの展示、
ハンドメイドビルダー、メーカー技術者、ガールズケイリン選手によるトーク
ショーやフレーム組立て体験開催

来場者数：合計 3,550 人（25 日 2,183 人 / 26 日 1,367 人）



会場の様子

パナソニックサイクルテック特別講演

③自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の持つ
多様な活用法とその魅力を紹介するため、以下のテーマ展示、特別展示を行った。

※補助事業は(2)～(4)のみ

(1) 第 1 回テーマ展示「自転車月間・ツアー・オブ・ジャパン展」

期間：2019 年 4 月 24 日(水)～6 月 16 日(日) 来館者数：928 名

(2) 第 2 回テーマ展示「自転車競技の魅力展」

期間：2019 年 6 月 19 日(水)～9 月 16 日(月・祝) 来館者数：1,517 名

(別紙5)

(3) 第3回テーマ展示「自転車旅の魅力展」

期間：2019年9月19日(木)～12月15日(日) 来館者数：1,239名

(4) 第4回テーマ展示「働く自転車展」

期間：2019年12月18日(水)～2020年3月22日(日) 来館者数：959名

(5) 特別展示「19世紀末の自転車ポスター展 ～極みの表現その違い～」

期間：2020年3月25日(水)～2020年3月31日(火) 来館者数：22名



「自転車競技の魅力展」



「自転車旅の魅力展」



「働く自転車展」

④出張教室

地方自治体、一般企業などからの依頼を受け、当センター学芸員や自転車安全教育指導員資格を有するスタッフが講師となり、小学生や高校生、一般社会人、高齢者等を対象に、パワーポイントを使った座学講習や、当センター所有の自転車シミュレーターなどによる実技体験を盛り込んだ出張形式の自転車交通安全教室を開催した。

さらに、新聞、雑誌、テレビ等の取材依頼を受け、出演等も行った。



自転車安全利用講習会
(東京しごと財団)



自転車交通安全講習会
(大日精化工業株式会社)



自転車交通安全教室
(品川区立戸越小学校)



自転車交通安全教室
(大阪府立三国ヶ丘高等学校)

また、自転車の楽しみや魅力を伝えることを目指し、夏休みと春休みの期間中に一般の人が参加・体験でき、特に夏休みの期間については、自由研究の課題にも活用できる教室を開催した。併せて自転車の正しい乗り方についての安全利用講習も行った。

●自転車乗り方教室／「自転車文化センター 自転車乗り方教室」

<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100423>

開催日 : 2019年7月7日(日)

(別紙5)

場 所 : 自転車総合ビル6階
時 間 : 午前の部 10:00~11:30
 午後の部 13:30~15:00
内 容 : ①自転車乗り方教室
 ②自転車の正しい乗り方・ルールとマナーについて
講 師 : 山口 文知
参加者 : 午前の部 / 子ども 5名 保護者 8名 計 13名
 午後の部 / 子ども 5名 保護者 7名 計 12名
 合 計 子ども 10名 保護者 15名 = 25名

●夏休み自転車教室／自転車文化センター「夏休み自転車教室」

<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100427>

開催日 : 2019年8月4日(日)
場 所 : 自転車文化センター1階／自転車総合ビル6階
時 間 : 10:30~11:15 ①自転車の科学教室(601会議室)
および内容13:30~15:00 ②自転車の分解教室(ライブラリー)
講 師 : ①谷田貝 一男 ②中野 俊喜
参加者 : ①子ども 6名 保護者 6名 計 12名
 ②子ども 5名 保護者 6名 計 11名
 合 計 子ども 11名 保護者 12名 = 23名



3. 自転車による地域活性化促進事業

①全国統一自転車促進キャンペーン <http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。



統一事業(山形バイクロジー)



統一事業(熊本バイクロジー)

②バイクロジー地域リーダー養成セミナー

http://www.bpaj.or.jp/file_upload/101469/_main/101469_01.pdf

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイクロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイクロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを開催した。



18組織21名、一般・関係団体34名



合計55名参加

2 予想される事業実施効果

1. 自転車情報提供事業

自転車文化センターが目黒に移転して満6年となるが、地元自治体からの自転車交通安全に対する内容の依頼がコンスタントにされるようになり、最寄り駅となるJR東日本目黒駅(23区内5駅合同)で実施予定だったイベント企画※1への協力依頼等、地域に根差した当センターの役割が担え始めていることの表れと期待できる。

また、熱心なリピーターも多い中、自転車の専門分野以外のところからの問い合わせも多くあり、「自転車」をキーワードとしたことへの施設の認知度が上がっていると予想され、今後も一般の方はもとより、自転車に関する幅広いニーズに応えることのできる公共施設として利用される機会の増加が期待でき、自転車に関する様々な情報提供や発信の場として、当センターがその役割を担い、自転車文化の醸成や産業の振興等に寄与する。

(※1. 新型コロナウイルス拡散防止のため、イベントは直前で中止)

2. 自転車普及啓発イベント事業

ア) 自転車月間イベント

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想される。「自転車の日」記念事業を通じて月間の周知・趣旨の浸透が図られることにより、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

来年も来たいと言う声が多いことや、平成29年5月1日付で「自転車活用推進法」が施行されたことにより、一般のみならず、国や地方自治体、警察などからも自転車への関心が高まり、毎年継続して実施する必要性がある。自転車への興味関心を高める役割を果たすことが、自転車月間イベントの目的を果たすことに繋がると期待される。

イ) 企画催事

サイクルツーリズムが推奨されていることもあり、一般の方々をはじめ余暇や暮らしの質を高めるツールとして体格や年齢等に応じたオーダーメイド自転車への関心、需要が高まりつつある。また、高齢化社会での問題ともなっている自動車運転免許返上による移動手段の選択肢の一つとして自転車への切り替えに対する問い合わせもあり、その利用内容は多岐に亘っている。身体に障害をもっている方のリハビリ用としてだけでなく、今後も時代の変化に合わせたニーズは高まると予想される。そういったニーズに応えるオーダーメイド自転車の紹介、提案といった場にもなるような「ハンドメイドバイシクル展」に期待が高まる。

ウ) テーマ展示

“自転車”をキーワードとしたテーマを設け、身近で便利な移動手段に留まらない自転車の魅力を紹介する。展示の中では、歴史的な自転車を随時展示し、「いつでも歴史的な自転車を見ることが出来る施設」として認知を拡げる。

リピーターの来館者はもとより、新規来館者を誘致するきっかけとなるよう自転車に関する豊富な情報に触れる機会を提供し、メディア等にも当センターの在り方をアピールし、自転車の魅力、文化の醸成を図る。

エ) 出張教室

子どもから高齢者まで、それぞれの年代や利用目的に合わせた内容での講習会を実施し、事故例やその防止策等自転車利用時の交通ルール・マナーをより解りやすく学習する機会を創出する。そして、自転車利用の正しい知識を深め、改めて自転車は軽車両であるという認識を持っていただき、自転車に関わる交通事故の加害者にも被害者にもならないよう自転車の安全利用の普及促進を図る。

3. 自転車による地域活性化促進事業

ア) 全国統一自転車促進キャンペーン

「バイコロジー運動」の推進を図るために、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに、各地域における活動を実施した。

バイコロジー地方組織の統一活動として、交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーンを春・秋の全国交通安全運動期間及び自転車月間を実施し、バイコロジー運動の全国的な普及啓発を図った。キャンペーンでは、

(別紙5)

配布用のチラシ(反射シール・ティッシュ付き)を作成し、バイコロジー地方組織に配布した。なお、今年度のチラシに「自転車活用推進法」、昨年度好評だった自転車乗る前点検の合言葉「ぶたはしゃべる」も引き続き表記をした。

今後は国及び地方自治体と連携して自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及啓発の役割を果たすことが求められる。

イ) バイコロジー地域リーダー養成セミナー

バイコロジー地域リーダー養成セミナーにおいては来年 100 歳を迎える東京葛飾バイコロジーの矢崎会長に自転車産業発展のノウハウや、自転車で健康な体づくりの方法を教わったが来年 100 歳を迎える東京葛飾バイコロジーの矢崎会長に自転車産業発展のノウハウや、現在も元気で活躍してできるのは自転車に乗っているからなどの健康な体づくりの方法を教わった。

経験した人の話しには科学的データとはまた違った説得力があり、参加者も影響を受けていたようだった。

各地域におけるリーダーの養成により、バイコロジー運動の普及推進が進み、地方組織の活性化・拡充が期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100438>)

・BCC入門ガイド～始めよう自転車ライフ～

	
BCC 入門ガイド (表紙)	BCC 入門ガイド (目次)

(別紙5)

・「2020 ハンドメイドバイシクル展」印刷物

	
<p>チラシ・ポスター</p>	<p>来場者アンケート</p>
	
<p>来場者用チラシ（表）</p>	<p>来場者用チラシ（裏）</p>

・ 令和元年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

(<http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2019/>)



(別紙5)

- ・ 令和元年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2019』
来場者案内用チラシ



- ・ 自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット



- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般財団法人 日本自転車普及協会
(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住 所 : 〒141-0021
東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代 表 者 : 会長 石黒 克巳 (イシグロ カツミ)

担当部署 : 事務局 (ジムキョク)

担当者名 : 事務局長 大島 武巳 (オオシマ タケミ)

電話番号 : 03-4334-7952

F A X : 03-4334-7957

E-mail : jifukyo@jifu.jp

U R L : <http://www.bpaj.or.jp>